

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA SOUTH-WEST



広島西南ロータリークラブ会報

Lend a Hand ~手を貸そう~

会長/村尾 博司 幹事/曾里 裕 例会場/広島全日空ホテル 広島市中区中町 7-20
 副会長/濱田 公暉 副幹事/杉川 聡 事務局/広島市中区基町 6-78 リーガロイヤルホテル広島 13F
 会報誌誌委員長/谷口 公啓

■ 会長時間

先週の理事会のご報告を申し上げます。まず、IMについて、登録数は619名です。当クラブの出席者は49名です。出来るだけスケジュールを合せてご出席くださいますよう宜しくお願い致します。次に2月のプログラムが承認されました。3項目は新世代奉仕委員会の津田子供の家との交流を高年齢者奉仕委員会と合同で行うとのことでこれも承認いたしました。

では、最後に合同事務局の財政難についてのお話を申し上げます。現在事務局は12ロータリークラブが入っています。財源は会員一人当たり月額6,500円の事務局費によって賄われています。ところが今は過去積み立てた退職積立金1,100万円の内、既に400万円を使いこんでいます。このまま行くと財政破綻する事は目に見えています。そこで合同幹事会の一部のメンバーによって合理化委員会を設け、色々検討しました結果、特別会費として、一人当たり5,000円を支払って欲しいという事になり、幹事が持ち帰って各クラブで検討すると言うことになりました。これを受けて理事会で議論を致しました。皆さん経営者ですから、正に正論を述べられました。大半の意見は経費の削減を考えるべきだと言う事になりました。例えば、事務局はリーガで無ければならないのか。人件費の削減は出来ないのか。クラブの統廃合は出来ないのか。等です。広島西南RCとしては、将来の展望が見えない限り5,000円の負担はすべきではないと言う事に致しました。私個人で提案するとすれば、現在800名の会員を一割増やせば解決しますよ、と申し上げたいのですが、これが最も難しいテーマかもしれません。現在の合同事務局の問題点を皆様にお知らせし、会長時間を終わらせていただきます。

連続出席100% 宮本会員(1年) 中村会員(5年)
 平原会員(6年) 大野会員(12年)

中村会員には記念バッジが贈呈されました。
 結婚記念月 西本会員、石井裕会員、戸田会員、小川会員、
 天野会員

代表して、石井裕会員よりご挨拶を頂きました。

■ 幹事会務報告

例会変更のお知らせ

広島廿日市RC 新会員歓迎夜間例会

日時 1月26日(月) 18:30~

場所 梅もと 別館

本日例会終了後クラブ協議会が開催されます。

■ 出席報告

本日(1月13日・火曜日)

会員数	66名	出席者	56名
欠席者	10名	ご来客	5名
ご来賓	0名	ゲスト	1名

前々回(第836回例会 12月24日・火曜日)

会員数	66名	免除者	4名
出席者	53名	欠席者	9名
メンバー	8名	出席率	98.39%

■ 委員会報告

IM運営委員会 山本豊実行委員長

今年度のIMにつきましては、当クラブは勿論、他クラブの皆様にもご協力、ご支援を頂いて本当に感謝致しております。しかし現在の出席登録が2710地区6・7・8グループ1256名中621名です。700名以上の出席を希望しております。しかも大國ガバナー補佐を出しているホストクラブである当クラブが、66名中49名となっており、ホストクラブとして全員出席していただき、良い成果を上げたいと思います。更なるご協力、ご支援を頂きますよう、伏してお願い申し上げます。

■ スマイルボックス

自主申告 濱田会員、

1月11日夕方にさし歯が外れました。前田先生にお願いして休日の12日午前中に緊急治療をして頂き、無事治りました。

ご結婚記念月おめでとうございます。

西本会員、石井裕会員、戸田会員、小川会員、天野会員

お誕生月おめでとうございます。

西本会員、中山会員、三好会員、岡田会員、垣原会員、

濱田会員、吉田会員

■ 年男 新春放談

佐々木 宏 会員

昭和19年生まれの中甲の申です。

今年2月18日の誕生日が来ますと、

還暦の60歳になります。還暦のお

祝いには、赤い頭巾にチャンチャ

コを贈るとい慣わしが江戸時代

からあったそうです。これは十干十

二支の干支の組合せが60通りあり、

満60歳で生まれた年の干支(今年は甲申)に還ると言う事で還

暦と言ひ、生まれた時の赤ちゃんに帰るといことで赤い物を送ると

いう風習があったそうです。また、赤は廓除けとか、元気が出る源

であるとも言われています。子供たちが赤いゴルフシャツを贈って

くれるそうですし、芝楽会でも赤い高級なカシミアのベストを贈っ

て下さるということで楽しみにしております。

昔は還暦と言えば隠居というイメージがありましたが、今では還

暦の皆さんはまだ現役バリバリです。私も気持ちだけは40

歳台のつもり。これからの仕事に、遊びに精一杯頑張るつもりです。

60年といえど決して短い時間ではありません。日数では22,000

日、時間では50万時間にもなります。これまで育ててくれた父母、

支えてくれた妻、お世話になった先輩や友人に感謝の念を抱いて、

仕上げの時期に来つつある人生を豊かで実りのあるものにして行

きたいと思ひます。今後とも宜しくお願い致します。

大野 忠 会員

私は昭和19年7月26日生まれで、今年の夏に還暦を迎えます。

自分がどんな時代に誕生したのか年表を見ますと、次の様になって

おります。



本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

<http://hiroshima.southwest.rotary2710.net>

【1944年（昭和19年）】

〔出来事〕緊急学徒勤労動員方策要綱決定。東京、名古屋に防空法による初の疎開命令（1月）/インパール作戦開始（3月）/マリアナ沖海戦。北海道で大噴火 昭和祈山できる。大都市の学童集団疎開決定（6月）/インパール作戦中止命令、米軍、テニアン、グアム島上陸（日本守備隊全滅）（7月）/沖縄空襲、米軍、フィリピン・レイテ島上陸。マリアナ基地のB29東京初空襲（10月）/陸軍省、満十七歳以上を兵役に編入（11月）



〔生まれた人〕釜本邦茂（サッカー選手） 田中真紀子（政治小椋桂（歌手） 高橋英樹（俳優） 久米宏（キャスター） 中村絃子（ピアニスト） 椎名誠（作家） 舟木一夫（歌手） 二世中村吉衛門（歌舞伎俳優）

私自身戦争の経験はありませんが、物の少ない時代に生まれ育ち、今は潤沢な時代に生活しておりますが、今世界の各地で紛争、テロ、戦争で難民となる悲惨な方々のことを考えますと幸せを感じます。早く平穏な国際社会になりますよう、また日本の景気が早く回復するよう祈っております。会員の皆様の益々のご健勝と事業のご発展を祈念いたします。本年も宜しく願い申し上げます。

中村 高洋 会員

今年6回目の年男を迎えました。私の場合、今まで年男の時はいつも厳しい試練がめぐってきました。生まれたのが昭和7年ですので昭和恐慌の真っ最中に生んでいただきました。第1回の原爆の生き残り、旧制中学1年生の250人中の生き残り11人の中の一人です。それから始めて、第4回までは本当に厳しい試練ばかりでした。しかし、その試練を乗り越えてきたおかげで第5回と今年第六回目からは夢を追う年にしたいと思っています。私の試練の話などしてもご興味がないと思いますので、今年花が咲く一つの技術のことを話させていただきます。



皆さん、ペットボトル入りのビールを見たことがないでしょう。ビールはアルミ缶かガラス瓶に入っています。その理由はペットボトルには目に見えない微細な穴が開いていて、液体の分子は出て行きませんが炭酸ガスのようなガスの分子はその穴から通り抜けて、ビールのような発泡性の飲み物はガスが抜けて美味しさがなくなってしまいます。だから、今まで使われておりませんでした。ところが、麒麟麦酒が開発した基本技術で、その小さな穴にDLC（ダイヤモンドライクカーボン）という非常に小さい炭素の結晶を埋め込んでガスがぬけないようなペットボトルが出来ます。3年ほど前にその埋め込み装置の開発のお手伝いをしたものですから今年秋に麒麟から発売されるペットボトル入りのビールを楽しみにしています。皆さん、このビールが出ましたらどうか今日の話思い出してください。ちなみにガラス瓶やアルミ缶に比べて輸送、回収のコストが低くなるばかりではなく、回収率が高いことが環境に易しくもなるものと歓迎しています。

次の年男は生きているかどうか分かりませんが、もし生きているとすればいま手がけているテラヘルツの波長を持つ電磁波を使って麻薬や爆発物がケースの外から検知できる装置が市場に出回っていることでしょうか。こういった楽しいことを夢見ながら年男を迎えたいと思っています。ご静聴有難うございました。

三島 正義 会員

今年で6度目の当たり年を迎えました三島で御座います。

第一回目は、大東亜戦争の真っ只中の昭和19年で御座います。気力は有りましたが食べ物がなく栄養バランスが取れずに、脚気であったり、リュウマチになったりと体の痛み等で不自由を感じたこ

とを思い出します。

第二回目は、昭和31年で、ようやく食料不足から開放され始めまして、下腹に力が入りだしました。物不足から、物の生産へスタートした頃であるように思います。働けば働けば先の明るさが見え始めまして、日本国民、自信もついてきた頃です。

第三回目は、昭和43年です、当時の政府の住宅政策もあり、将来の見通しのつく人達が住宅ローンに依ってマイホームを建て始め、核家族が始まったように思います。核家族が始まると、親子三代で共有していた家財道具は家族毎にセットが必要になります。電化製品をはじめ家財道具一式、揃えなくてはなりません。それに関する産業は拡大を続けていきました。当時の日本の急成長にアメリカが、繊維産業に輸入規制をしたのもその頃で有った様に思います。

第四回目は、昭和55年です、生活の質の向上も進み始めてマイホームもアパート的なものから、今で言いますマンション的な質を求めた住宅建築がはじまりました。また、昭和49年に海外旅行が自由になって国民全員がパスポートを持つまでもになりました。

第五回目は、平成4年です。還暦を迎えることが出来ました。私は、30歳代に不整脈を患って50歳まで持つかどうか心配をして、その心準備をして居りましたので還暦は感激でした。西南ロータリークラブも発足して6年目となり、どうにかロータリークラブの形が出来上がって来たように思います。海外に対しては、レジャーの旅行のみでなく、国際的とか、国際交流と言う言葉と共に、留学とか、工場進出が活発になってきております。デフレ不況は、この平成4年位からと言えるのではないのでしょうか。

平成16年、第六回目の年男となりました。

平成28年までの歴史は未だ出来ておりません。歴史は出来るものではなく、創るものだとするならば、今年は不況から脱出できるよう、努力を皆さんでやってみるのは如何でしょうか。

そして若し第七回目を迎える事が出来るならば、バブル期のようなことは無いにしても、戦後のゼロから、アパート、そしてマンションになったように、大和民族は、質のしっかりした経済地盤を築いて行く一節になるのではないかと期待をして年男放談を締め括ります。

濱田 公置 会員

自分の生まれた干支に無事帰って参りました、年男の濱田です。十干十二支一巡りをして1月31日に還暦を迎えます。

六十年間の人生を振り返りますと、節々に出会いや、大きな変化があったようです。

戊申 昭和43年 24歳 結婚

庚申 昭和55年 36歳 父、師僧の遷化

壬申 平成4年 48歳 クラブ幹事 アジア大会

甲申 平成16年 60歳 クラブ会長 ロータリー100周年

今年は甲申ですが、今年は何のような年になるのでしょうか？甲申の年は、古い構造が破壊され、新しい構造・革新の動きが始まる年と言われています。発想の転換を推し進める事が求められるのです。

甲：草木の芽がその殻を破って頭を少し出した状態をいう。新たな創造、開発の意味を表す。

申：伸と同意で伸びるの意味を持ちます。

つまり、草木の芽がドンドン伸び始める年となるのではないのでしょうか。

他の年男の皆様と同様に、十二年後の申年に新春放談が出来ますよう、精進してゆきたいと思っております。



本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

<http://hiroshima.southwest.rotary2710.net>